

## 医師紹介

神経内科  
ヒフ タニ ヤスヒロ  
**檜皮谷 泰寛** 医師



〈プロフィール〉  
平成12年 3月 和歌山県立医科大学医学部医学科卒業  
平成13年 4月 和歌山県立医科大学付属病院にて臨床研修  
平成15年 4月 和歌山県立医科大学付属病院  
神経内科学教室 学内助教  
平成18年 4月 新宮市立医療センター 神経内科 医長  
平成19年 4月 和歌山県立医科大学付属病院  
神経内科学教室 助教  
現在に至る

平成28年4月より、桜ヶ丘病院で、毎週水曜日の午前中に神経内科外来の診療をしております檜皮谷泰寛と申します。

桜ヶ丘病院では、神経難病や認知症などを患い通院入院されている方の診療を行っています。脳神経疾患は、認知機能や身体機能の低下をきたしやすく、本人や介護者の負担が増えてくることの多い疾患ですが、医療・介護スタッフと協力しながら、患者さんが住み慣れた環境で暮らしていくお手伝いができるよう診療にあたりたいと考えております。今後ともよろしくお願いたします。

皮膚科  
コバヤシ カズオ  
**小林 和夫** 医師



〈プロフィール〉  
昭和48年 3月 兵庫医科大学卒業  
昭和48年 4月 京都府立医科大学皮膚科教室にて臨床研修  
昭和58年 3月 京都府立医科大学皮膚科教室 助手  
昭和61年 3月 京都府立医科大学皮膚科教室 講師  
平成 2年 3月 京都市内にて皮膚科開業  
平成28年 4月 閉院後、和歌山県田辺市に移住  
現在に至る

平成28年4月末より皮膚科の診療をさせていただいている小林です。

皮膚科の守備範囲は広く、性別関係なく、赤ちゃんから高齢者まで、湿疹・皮膚炎から皮膚がんまで、難治性の慢性皮膚疾患など多彩な病気を扱います。さらに、爪や毛髪などの疾患もあり、近年、大学病院などでは専門化が進行、心療皮膚科なども展開されています。

皮膚病に限らず、病気になるとまず「なぜ病気になったのか?」「どうなるのか?」といった自問自答が始まりますが、この状態では適切な治療は困難です。これは持論ですが、医者は病気のコントロールは出来ても治すことは出来ないの、患者さん(家族)とじっくり話し合い、お互いの意見を交換し、適切な治療方針を立てていくことが治療の第一歩だと思います。

非力な私ですが、患者さんが納得して頂けるよう努力をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

### ●第61回日本透析医学会学術集会 (平成28年6月9日～12日)

演題  
透析患者が人生の最終段階まで



自分らしく生きるために  
～エンディングノートから  
考える第一歩～

発表者  
腎センター  
看護師 中畑 ひろ子

場所 大阪国際会議場

### ●第40回桜ヶ丘病院研究発表会 (平成28年7月2日)

各部門、委員会より7演題の発表が行われました。

**最優秀賞**  
栄養サポートチーム 谷口裕典 准看護師  
テーマ:「NSTの早期介入を目指して  
～ピックアップシートの導入を試みて～」

**特別講演**  
講師 和歌山県立医科大学腎臓内科学講座  
講師 大矢昌樹 先生  
テーマ 「腎臓病を診る重要性  
～おさえておきたい尿検査～」  
(於:橘家)

## 認知症の患者さんにも安心して入院していただくために

当院では、今年7月より「認知症ケア加算2」の施設基準を取得し、認知症をもった患者さんにも今まで以上に安心して療養生活を送っていただける入院体制の整備を進めております。

高齢者医療に特化している当院では、超高齢者社会に向けて認知症に精通している神経内科医・脳神経外科医を中心に、病棟にも認知症ケア講座の研修を終えた看護師4名が配置されています。今後は、医療と看護が連携して認知症症状の悪化を予防し、身体疾患の治療を円滑に受けられるよう認知症医療に取り組んでまいりたいと思います。



## 透析技術認定士が増えました



当院では、慢性腎不全の患者さんに対し、外来での保存期治療から透析導入・維持期まで継続した医療を提供しています。今回、新たに西原誘作看護師が透析療法合同専門委員会認定の透析技術認定士の資格を取得し、これで当院での資格取得者は4人目となりました。今後も患者さんにとって最適な透析治療・専門的な看護が提供できるよう、日々知識・技術の向上に努めていきたいと思っております。

## さくら健康フェスタ開催

(平成28年5月29日)

当院にて初めて開催した『さくら健康フェスタ』には、約170組、総勢260名を超える方々が参加してくださいました。

当日は、講演会や体力測定・頸エコーや動脈硬化検査などの健康チェックを始め、ハンドベル演奏会やお子様向けの体験コーナー・ハンドマッサージなど様々なイベントを企画し、お子様からお年寄りまで多くの方々に楽しんで頂きました。



※バザーの収益金は熊本地震の義援金として寄付させて頂きました。